



# 環境未来都市とやまの取り組み

 富山市長 森 雅志

# 富山市の概要

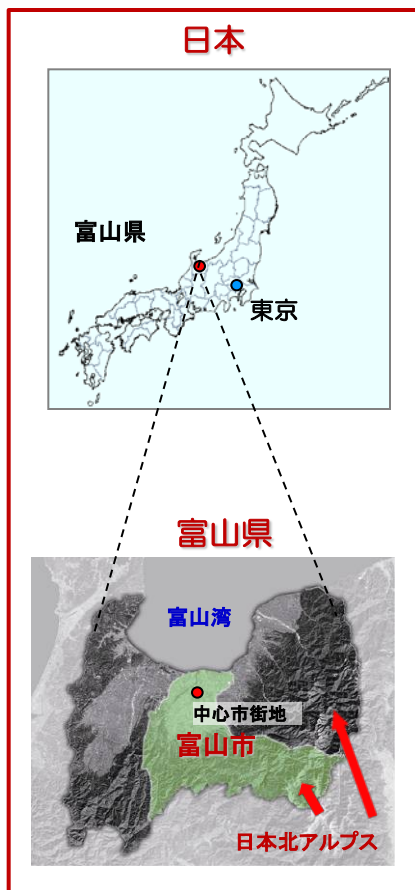
人  
総  
特

口:421,953人 富山県の約4割(2010年国勢調査)

面積:1,241.77km<sup>2</sup> 富山県の約3割(県庁所在都市では2番目の広さ)

特徴:海拔0mの富山湾から標高2,986mの水晶岳まで約34km 自然豊かな地形

森林面積が市域の約7割



## ＜地方都市の現状と課題＞

人口減少、超高齢化、CO2排出量の増大、厳しい財政運営、維持管理費等行政コストの増大 etc

## これらに対応できる地方都市の1つの将来像を提示

### 1. 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

公共交通の活性化、中心市街地や公共交通沿線での都市機能の集積 など

### 2. 質の高い魅力的な市民生活づくり

中心市街地の活性化、歩いて暮らせるまちづくり、ソーシャルキャピタルの醸成 など

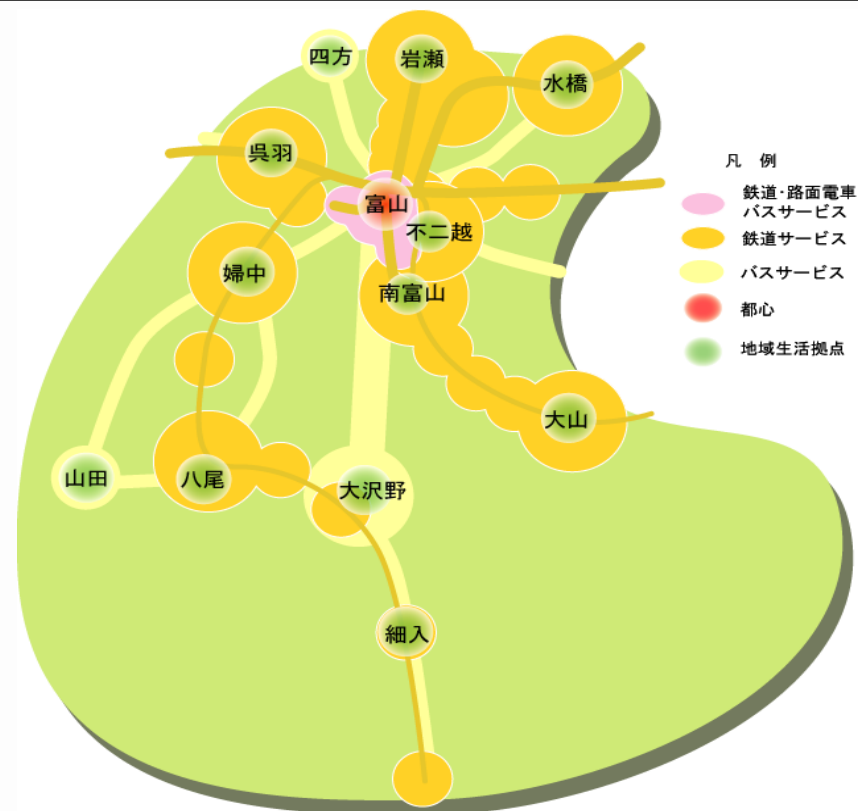
### 3. 地域特性を十分に活かした産業振興

地場産業である薬業の最大限の活用、再生可能エネルギーの活用、企業誘致 など

人口減少や超高齢化に対応するため、**持続可能な都市**を創出することにより、「誰もが暮らしたい活力あるまち」を実現することを目指す

## ＜実現するための3本柱＞

- ① 公共交通の活性化
- ② 公共交通沿線地区への居住促進
- ③ 中心市街地の活性化



# 公共交通の活性化 ～LRTネットワークの形成～

LRTネットワークの形成により、過度に車に依存したライフスタイルを見直し、  
歩いて暮らせるまちを実現



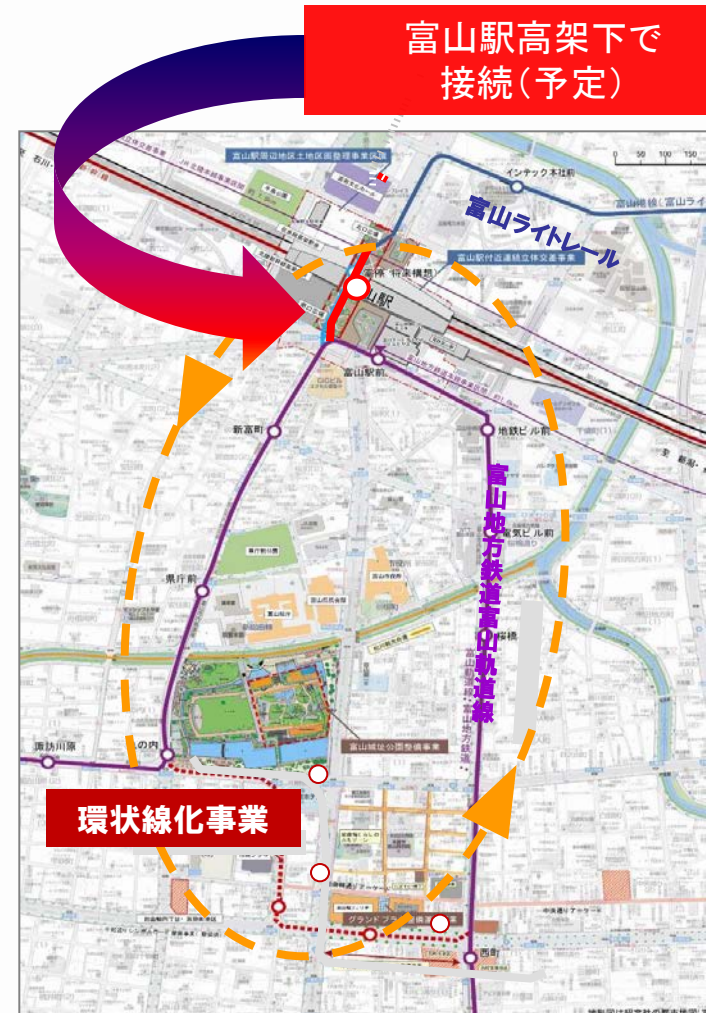
## 北陸新幹線開業を契機とし、富山駅高架下での路面電車の南北接続を実現



▲北陸新幹線(富山駅構内)



▲富山駅南口から走る路面電車

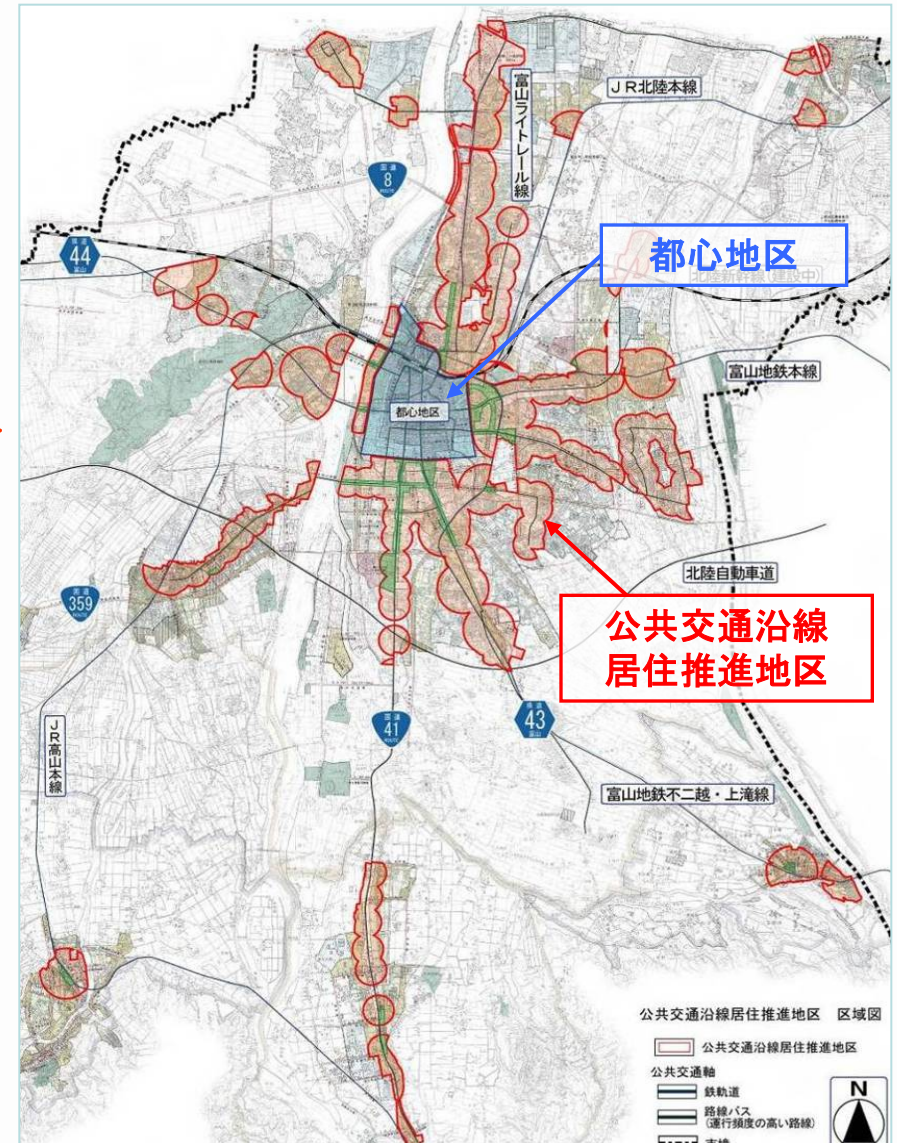


# 都心地区・公共交通沿線居住推進地区の設定

## 都心地区・公共交通沿線居住推進地区の設定

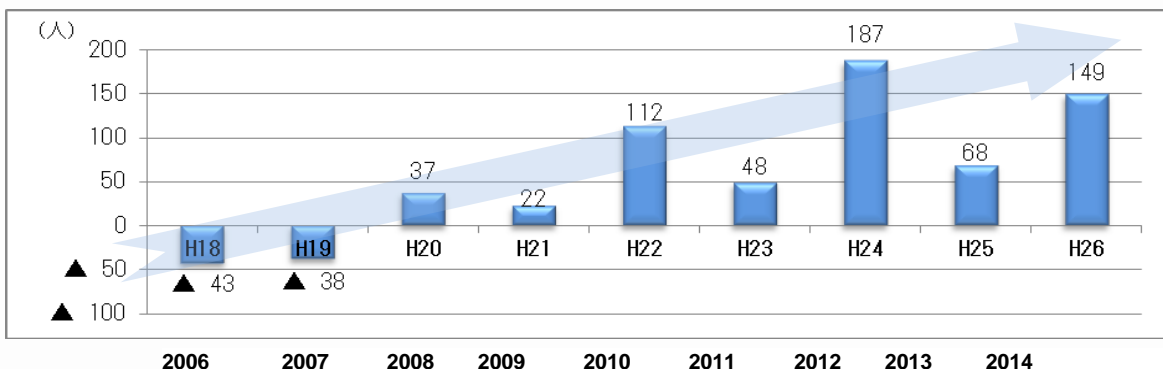
- 都心地区：約436 ha
- 公共交通沿線居住推進地区：約3,357ha  
※富山駅を中心とした19の公共交通軸周辺
  - 鉄道、軌道駅勢圏（半径500m）
  - バス停圏（半径300m）

公共交通沿線居住推進地区の人口が  
2005年度28%→2015年度の32%へ  
4%増加

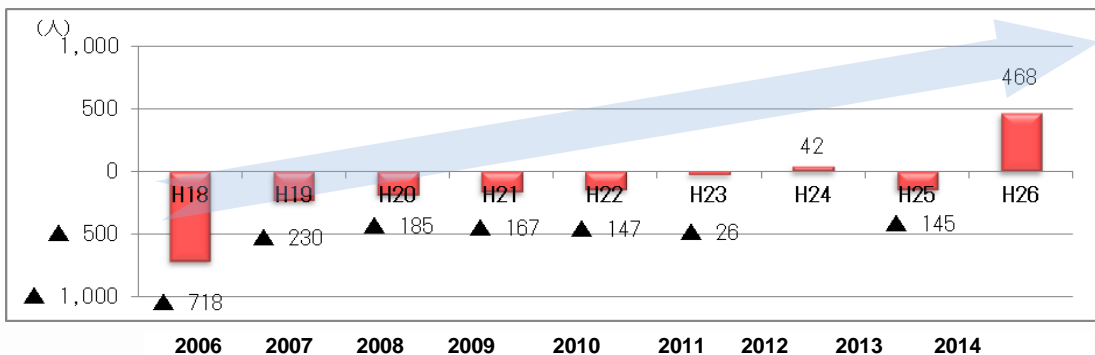


# コンパクトなまちづくりの効果 ～転入人口の増加～

## #1 中心市街地(都心地区)の社会増減(転入-転出)の推移

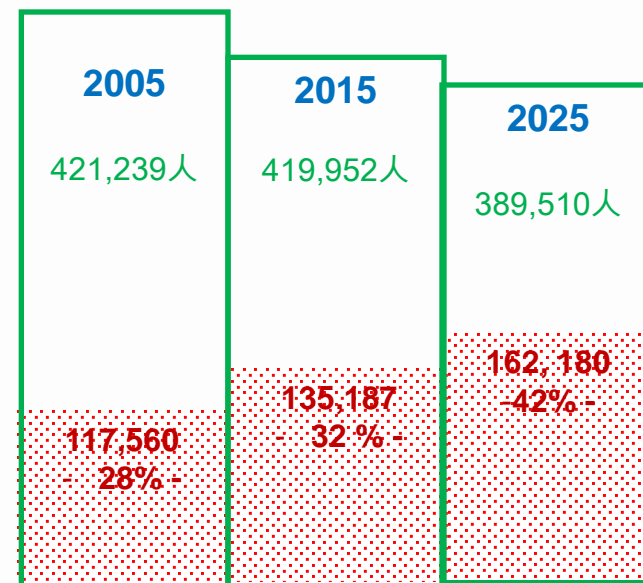


## #2 公共交通沿線居住推進地区の社会増減(転入-転出)の推移



## #3 便利な公共交通沿線における居住人口の目標

- 緑 = 市全体人口
- 赤 = 都心地区及び便利な公共交通沿線人口と割合





# コンパクトなまちづくりの効果 ～人口の維持力～

1. 富山市の総人口は、日本及び富山県全体と同様に減少傾向にある。
2. 富山市は、高齢化に伴う自然減(出生－死亡)により、人口が減少しているが、8年連続社会増(転入－転出)である。
3. 富山市の人口減少率は、全国及び富山県全体と比較すると鈍化している。

## 【人口増減等の比較(平成26年1月1日～27年1月1日までの1年間)】

	人口(人)	増減数(人)	増減率(%)
全国(日本)	126,163,576	▲271,058	▲0.21
富山県	1,072,631	▲6,061	▲0.56
<b>富山市</b>	<b>414,723</b>	<b>▲684</b>	<b>▲0.16</b>

○出展 総務省:住民基本台帳に基づく人口動態調査(H27.7.1発表)※外国人は除く

## 【富山市の人口動態(平成26年1月1日～27年1月1日までの1年間)】

出生(人)	死亡(人)	転入等(人)	転出等(人)	合計(人)
3,265	4,500	11,342	10,692	▲585

**1,235人の自然減**

**650人の社会増(転入超過)**

○出展 富山市資料※外国人を含む

# 中心市街地の活性化 ～富山市ガラス美術館・図書館複合施設～

建築家隈研吾氏の設計による、ガラス美術館と市立図書館等が入る複合施設を整備。ガラス美術館は日本最大規模であり、アメリカの現代ガラス美術の巨匠デイル・チフーリ氏 (Dale Chihuly) のガラス作品を展示。平成27年8月オープン。

外観



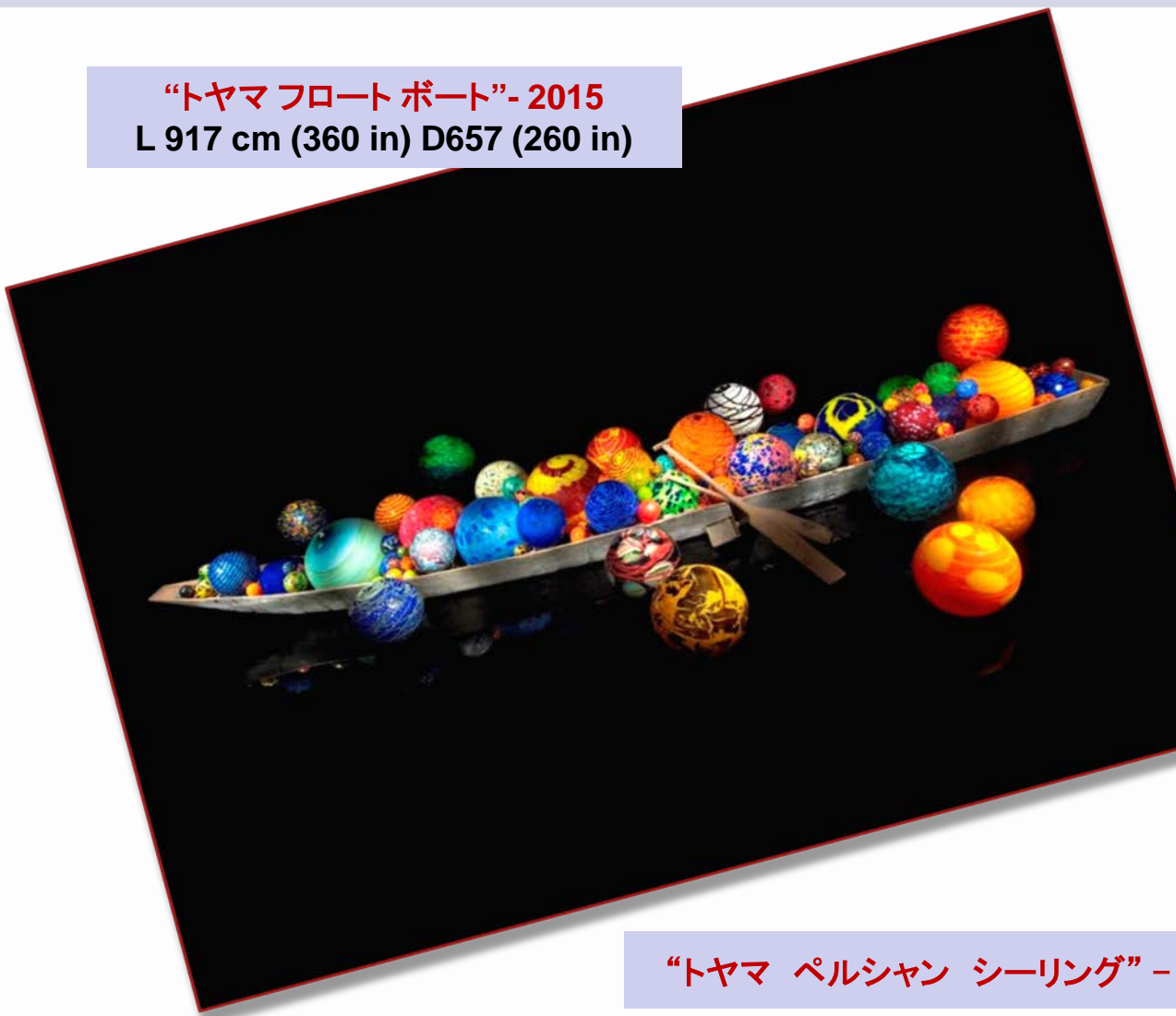
建物内部





デイル・チフリー 《トヤマ・ミルフィオリ》2015年  
H280cm(110in) \* W940cm(370in) \* D580cm(228in) 富山市ガラス美術館所蔵

“トヤマ フロート ボート”- 2015  
L 917 cm (360 in) D657 (260 in)



“トヤマ ペルシャン シーリング” - 2015



農産物の加工やマーケティング、魅力ある農業ツーリズムによって農業の付加価値を高め、6次産業化を図ることを地域再生計画の一つとして位置付けている

1. 市内の一団の耕作放棄地等を市が基盤整備し、大規模優良農地として再生し、エゴマの大規模露地栽培を行う。

2. 富山市内の企業が、酸化しやすく熱に弱いエゴマ油への対応として、年間9千2百万個のエゴマソフトカプセルを製造できる工場を建設。



エゴマは、シソ科に属する一年生の植物で、漢方薬等に使用されていた。エゴマは畑の魚とも呼ばれ、近年、オメガ3系脂肪酸( $\alpha$ -リノレン酸)を豊富に含む食品として、エゴマ油に注目が集まるようになった。

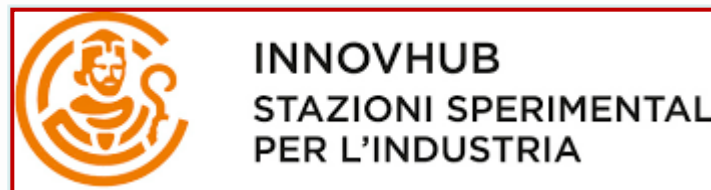
# 国際展開 ～イタリア・食科学大学との協定締結と日伊共同研究～

平成27年5月、イタリアの**食科学大学**と、イタリア国外の自治体としては**世界初**となる協力協定を締結するとともに、エゴマ6次産業化を目指す**環境未来都市プロジェクト**の一環として、エゴマ油とオリーブ油を最適配合したグローバルなヘルシーオイルを開発すべく、**日伊共同研究**を開始することで合意。

ミラノ商工会油脂研究所



協定を締結する森富山市長(写真左)とシルビオ・バルベーロ食科学大学副学長/スローフード協会副理事長(写真右)



食科学大学

富山大学



新たなヘルシーオイル

# 地域産業の推進 #2 農業への小水力発電の導入

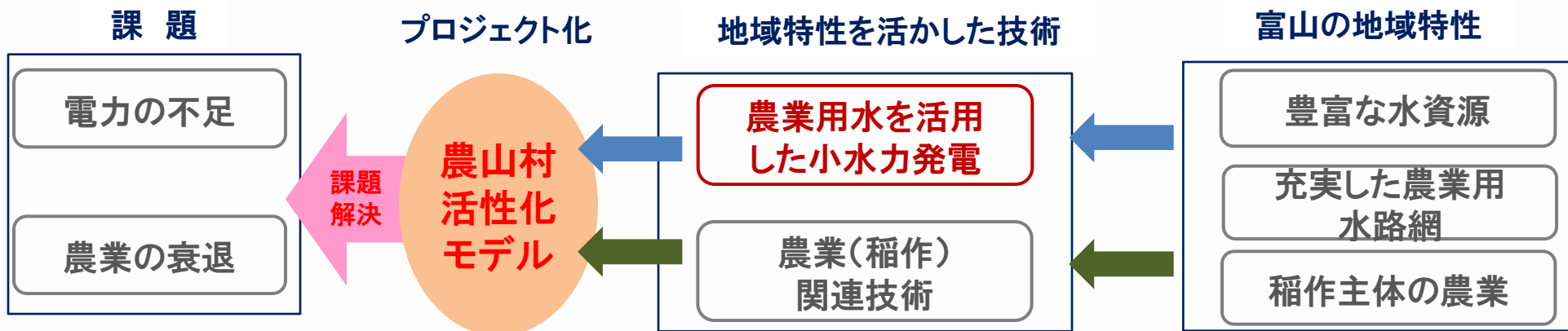
電力不足や農業衰退などの課題を解決するため、富山の地域特性を活かした「農業用水を活用した小水力発電」及び「農業(稲作)関連技術」を用い、「**農村活性化モデル**」の国際展開を図る

農業用水に設置した小水力発電



ユネスコ世界文化遺産にも登録されるインドネシア国バリ州タバナン県ジャテルウイの棚田群

平成26年3月21日 インドネシア共和国バリ州タバナン県とプロジェクトの実施に関する協力協定を締結



# コンパクトなまちづくりへの国際的な評価

富山市のコンパクトなまちづくりや環境施策に対する**国際的な評価が高まっている**



## OECD

2012年6月、OECDが取りまとめた『コンパクトシティ政策報告書』の中で、富山市が先進5都市(メルボルン、バンクーバー、パリ、ポートランド、**富山市**)の一つとして取り上げられる。



## SE4All

2014年9月、国際連合のSE4All (Sustainable Energy for All:万人のための持続可能なエネルギー)における、**「エネルギー効率改善都市」**に日本で唯一選定。



森富山市長、ユムケラー・SE4ALL担当国連事務総長特別代表、堀江・外務省地球環境問題担当大使

## ロックフェラー財団

2014年12月、ロックフェラー財団より、「自然災害や犯罪、テロなど各都市が直面する様々な衝撃や課題に対し、その重圧に耐え、回復する強靱な都市を目指す」、**『100のレジリエント・シティ』**に日本で唯一選定。





## 2016年主要国首脳会議の環境大臣会合が富山市で開催

2016年に日本で開催される主要国首脳会議(G7サミット)において、**富山市**のこれまでの取り組みや成果が評価され、環境大臣会合の開催都市として選定された。

会合では、地球温暖化や気候変動、生物多様性など、世界の環境をテーマに議論される予定。

